

実践記録

学校/学年	中学校 / 2年 /	
教科等：単元名	技術：「ウイルスの危険性」	
キーワード	ウイルス 感染 セキュリティソフト	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	g4 情報セキュリティに関する基礎的・基本的な 知識を身につける
	中目標項目番号 中目標項目内容	g4-1 情報セキュリティの基礎的な知識を身につける
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	ウイルスの危険性と、セキュリティソフトの重要性を理解する。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ Net モラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 自宅のコンピューターのセキュリティソフトをあげる 2 映像「ウイルスの危険性」を見て、パソコンがウイルス感染をすると何が起こるか考える	・コンピューターの専門用語についておさえる ・今までの知識としてもっていなかったことはなにか考え、発表させる
展開	3 映像「セキュリティソフト」を見て、コンピューターの安全対策を考える 4 「ウイルスの危険性」のドリルと疑似体験を行い、セキュリティソフトの重要性を考える	・セキュリティソフトやアップデートの大切さを映像を通して理解する ・実際に模擬体験をして、コンピューターがおかしくなったときの感想を考えさせる
おわり	5 将来自分のパソコンにしなければいけないことについて発表をする	将来、自分のパソコンを持ったときはセキュリティソフトやアップデートを大切にしたいと考えたか

授業の成果

- ・ほとんどの生徒が自宅のパソコンのセキュリティソフトが何であるか知らず、アップグレードの重要性を理解していなかったため、今後自分のコンピューターなどで意識しながら使えるようになると思われる。

指導のポイント・留意点

- ・実際に疑似体験をさせることで、身近なこととして考えさせる